

お店開店に向けて…

お祭りプロジェクト Part2

子どもたちの、まだまだお祭りを楽しみたいという思いから始まったお祭りプロジェクト。お店の担当を決めてから、お店ごとにサークルタイムを行い、少しずつ準備をしています。こんなお店にしたいなとイメージをどんどん膨らませている子どもたち。友だちとの関わりの中で、思いを伝えたり、思いを受け止めたり、提案したり、と様々な姿が見られます。

【射的】

どうやって射的の鉄砲や的を作るといいかな？



【魚釣り】

魚を作ってみよう
水に浮くかな？

【お化け屋敷めいろ】

遊戯場で迷路を作ってみよう
どんな道にしようかな？



【宝石探し】

宝石作り
キラキラの宝石
がいいよね

【お面屋さん】

どんなお面があると
喜ぶかな？



準備の様子をもうちょっと覗いてみよう



サークルタイムでのやり取りは、
大きな紙に書き留め、子どもたちも
見れるようにしています

～射的～



「射的ってどんなものか
知ってる？」



できあがったものを
違うお店の
友だちに紹介しました



「鉄砲で、小さい物をたおすんだよ」

「的はすぐ作れそうだね
鉄砲はどうする？」



早速調べて、鉄砲を作ってみることにしました。
鉄砲を作るのに必要な
段ボールを切っています

「小さいものっていうのは、ちいさ
いお菓子とか、箱だよ」

「ペーパーの芯で作れないかな？先
生作る？調べてみて！」

違うお店の友だちにも、どんな風にお店作りをしているかを伝えることで、お互いのお店への興味が広がり、頑張っている友だちの姿に刺激を受ける子どもたちの姿がありました。また、こうしたらどう？と、違うお店を担当する友だちから意見をもらう場面もありました。みんなで「こんなお店にしたいな」とイメージが広がっています。

～お化け屋敷めいろ～



「お化けになってみたいな」

「肩とんとんして、一緒に遊ぼう…
っていいの？」



「どんなお化け屋敷めいろにしたい？
めいろは何で作る？」

「めいろは、積み木、段ボール、マット、布
が使えるじゃない？」

「遊戯場の暗さをみてみたい
一回めいろを作ってみよう」

サークルタイムで振り返ってみよう



「隠れる場所が狭くて、
大変だった」
「あんまりびっくり
してなかったな」
「もっとお客さんをびっくりさせたい！」

「お化けの仮装
するのはどう？」

「私はお化けになるのは嫌だから
作ったお化けを、めいろに吊るすよ！」



遊戯場でめいろを
作ってみました

やる気溢れる子どもたち！
違うお店の友だちや先生を呼んで
お化け屋敷めいろ、第1回目はじまり～

サークルタイム→実際に試す→サークルタイムと繰り返しながら、少しずつ思いを形にしていこうと試行錯誤をしている子どもたち。上手いかなかった時も、次はどうする？と相談することで、新たなアイデアが生まれ、次に繋がっていき、期待感もさらに膨らんでいます。